

なにができるの？

Visual Studio .NET 2003

気になる新機能とノータッチデプロイメント

Visual Studio .NET 2003がリリースされた。前のバージョンに比べると、体感速度が上がったような気もする。おそらくかなりシェイプアップしたのではないと思われるが、機能もかなり追加しているはずだ。それにこれは新しいマシンに乗り換えたことのほうが大きいかもしれない。

いずれにせよ新しい環境はどうなっているのか、前バージョンとの互換はどうか。今回はWindowsアプリケーションを作成しながら、バージョンアップにまつわるアレコレを検証してみることにしよう。

志亜 亨
SHIA, Tohru

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
 - Visual Studio .NET 2003
 - Windows Server 2003

Level



Samples

はじめに

Visual Studio .NET 2003をインストールしてみた読者は、果たして何人くらいいるのだろうか。すでにパッケージを購入し、インストールしてみた方も多いのではないかと忖度するが、購入したものの、Visual Studio .NET 2002をアンインストールして、そのうえさらに.NET Frameworkもアンインストールすべきか、悩んでいる方も多いのではないかと思う。

なんといっても、Windows XPの場合、Windows Updateによって、いやでも.NET Framework 1.0用のSPがインストールされてしまうのだ。なんとなく、アンインストールしたらマズイような気になるじゃないですか、杞憂とわかっていても。

それほどではないにしろ、.NET Framework 1.0との競合が怖くて、別途用意した新しい(古い?)マシンに素のままインストールしたリッチな方も

いるかもしれない。もちろん、マイクロソフトの謳い文句である“DLL地獄の終焉”を信じてVisual Studio .NET 2002のみアンインストールし、.NET Framework 1.0は温存したまま.NET Framework 1.1とVisual Studio .NET 2003をインストールした方もいるはずだ。

で、一体全体、この矢継ぎ早のリリースによって、何が変わったのだろう。あるいは何が変わらなかったのだろうか。

本稿では、Windowsアプリケーションに的を絞り、基盤となる2つのフレームワークと、2つのVisual Studio .NETの差をごく軽く追いかけてみることにする。

環境について

その前に、かようにインストールされた(あるいは、されるであろう)環境が豊富だと、まずはどのようなパターンが成立するのかを整理しておかなければならない。

といっても、OS込みで検証しだす

Visual Studio .NET 2003

と、編集部の数名が他界するか、あるいは筆者が鼻血を出すことになりかねないので、ここではWindows XP Professionalをメインターゲットとさせていただきます。

Visual Studio .NET 2003をインストールする環境の、考えられるパターンは、

- .NET Framework 1.0 + Visual Studio .NET 2002
- .NET Framework 1.0
- none (素)

の3タイプになるだろう。

ただし、2つ目の「.NET Framework 1.0」のみという環境は、

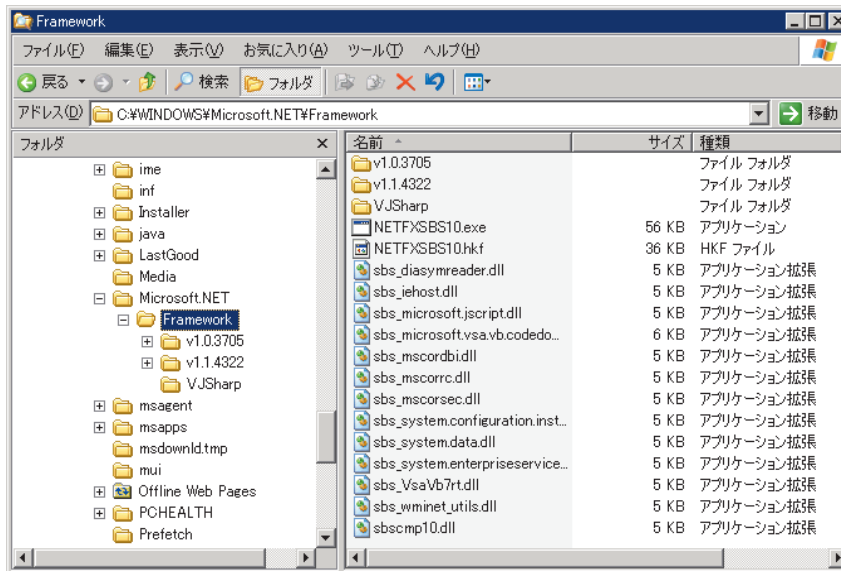
- .NET Framework SDK 1.0 だけインストールしてみた
- Visual Studio .NET 2002 をインストールして、そのあと、Visual Studio .NET 2002 だけアンインストールした
- Windows Update で知らないうちにインストールされていた

の3タイプが考えられる。

また、3つ目の「none」は、素のマシンに遮二無二Windows XPをインストールし、Visual Studio .NET 2003をインストールしてからWindows Updateをかける、という強引なことをやれば可能だ(それよりもなによりもWindows Server 2003は最初から.NET Framework 1.1しか入ってない)。

結果からいうと、どの環境にもすん

図1：2つのバージョンがインストールされた



なりインストールできる。HDDに余裕があればぜひインストールしていただき、「これが噂のSide-By-Sideかあ」とつぶやいてみることをお勧めする。

本稿では、HDDが足りなかったこともあって、Visual Studio .NET 2002と.NET Framework 1.0をアンインストールし、その上からVisual Studio .NET 2003をインストールした環境と、その上から、再度.NET Framework 1.0aをインストールした、結構はちゃめちやんな環境を用意した。

リリース当時の.NET Framework 1.0をインストールしてもよかったのだが、ここではサンプルに含まれている、例のSlamer対策パッチであるSP3があたったMSDEが、なにかと便利ということで1.0aをダウンロードした^[注1]。

もっとも.NET Framework そのものにはSPがあたっていないため、同じサ

イトからSP2を別途ダウンロードし、適用しなければならない。こっちも適用してくればいいのにねえ。

.NET Framework 1.0と.NET Framework 1.1がインストールされた状態が図1である。1.0は「%SYSTEMROOT%\Microsoft.NET\Framework\v1.0.3705」、1.1は「%SYSTEMROOT%\Microsoft.NET\Framework\v1.1.4322」にそれぞれインストールされているのがわかるだろう。

それと今回はWindowsアプリケーションを作成し、ホントに先にあげたようなさまざまな環境でちゃんと動作するのかどうかを確認するため、Visual Studio .NET 2002をインストールしただけのマシン、Windows Server 2003も用意した。

注1) <http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/sdk.asp>